

議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年1月21日(火) 12時30分～14時10分	
開催場所	明石市役所 議会棟2階 大会議室	
出席議員	班 長	山中裕司
	司 会 者	灰野修平
	記 録 者	宮坂祐太
	そ の 他	長尾博子、出雲有希子、中村茂雄、金尾良信 (以上、生活文化常任委員)
参加人数	5名(明石市ごみ減量推進員、生活協同組合コープこうべ第6地区、明石市飲食業組合)	
報告内容に関する質疑応答	質疑応答の内容は全て報告会テーマ「ごみ減量について」に関連するものであるため、下段の「主な意見・提言・要望と応答」の欄で記す。	
主な意見・提言・要望と応答	<p>① 参加者のごみ減量に関する現状の取り組み等について</p> <p>意見 明石市飲食業組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状は各飲食事業者が個別にごみ回収業者と契約を結び、分別したごみを有料で引き取ってもらっている。 ・パピオスあかしでは各店舗で分別したごみの量をはかりで計測していただき、量に応じて課金する制度を導入しており、各店舗のごみ減量意識の向上につながっている。 ・明石市の新ごみ処理施設は現行施設より施設規模が縮小するほか、最終処分場の延命化も図っていく必要がある旨の報告が委員からあったが、私どもとしてもごみ減量は喫緊の課題であると捉えている。事業者はもとより市民一人一人の意識を変えていく必要がある。 ・指定ごみ袋制の導入については、若干の手間が増えるかもしれないが、新たな負担をすることなく、ごみの総量を抑制し、課題解決につながる取り組みであり、進めていくべき。 <p>意見 生活協同組合コープこうべ第6地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品廃棄物を半減させるなど、2030年度に向けた環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」を2018年度に策定した。消費期限の表示を「何月何日」ではなく「何月」で区切った商品を増やしているほか、消費期限まで3分の1以上の期限が残っていない限りは製造元から仕入れをしない、といった従来の商習慣を見直している。 ・店舗から排出される生ごみ等の廃棄物を三木市にある施設へ送り農作物の堆肥に活用している。 ・商品棚の手前にある商品から取ってもらう「てまえどり」や(消費期限間近で)値引きされた商品を活用していただくようPRを行っている。 ・食べられなかったり食べきれなかったりしたもののまだ使える食料を、こども食堂等に提供するフードドライブの取り組みを行っている。 <p>意見および要望 明石市ごみ減量推進員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より、広報あかしをはじめ新聞テレビなど「ゼロ・ウェイストあかし」の取り組みを目にする機会が増えたが、今後もこの取り組みを継続してもらいたい。 ・ごみの減量を推進するにあたっては、市民一人一人が3R(Reduce=減らす、 	

Reuse=繰り返し使う、Recycle=再資源化)を心掛けることが重要。

- ・近隣市でも導入されている指定ごみ袋制度については、ごみの分別を促進し、リサイクルを進めるために必要な施策であり、議会も市の担当課と協力して進めてほしい。
- ・自治会員以外のごみの分別等のマナーの悪さが非常に問題であると感じている。自治会員以外にはごみの年間カレンダーが配布されておらず、ごみの指定地域以外への排出、分別されずに排出、指定日以外の排出が行われている。そのため、情報をどのように自治会員以外に示していくかが重要である。
- ・駅周辺の飲食店など、事業者から排出される廃棄物が、地域の一般のごみステーションに捨てられている状況が頻繁に見受けられる。
- ・あかしリサイクル BOX Taco 箱が市役所西庁舎に設置された。市の東部地区からは持っていきやすいが、西部・中部地区からは持っていきにくい現状がある。設置場所を増やす工夫を考えていただけないか。
- ・各校区ではごみ減量推進員に加え、協力員が活動している。協力員等によるワークショップ形式での意見交換会が 8 か所で開催されたが、非常に良い意見交換が出来た。

② 意見交換

質疑応答 明石市飲食業組合と委員

質問 明石市飲食業組合

- ・一般市民目線で考えた際に疑問に思うのが、明石市で人口増によるごみの増加も想定される中で、計画されている新しい焼却炉が従来の焼却炉の 6 割程度しか処理能力が無いのは、予算的な制約によるものか、敷地の制約によるものか。

回答 委員

- ・財政的な要因も大きいですが、それがすべてではないと理解している。

意見 明石市飲食業組合

- ・ごみは市民生活に切っても切り離せない。5年・10年・20年スパンでのごみ処理を見据えた際、この処理能力で焼却炉が持続するのか。処理能力にある程度余裕を持った大きな焼却炉を整備するのが王道ではないか。市民・事業者の理解・協力の下、ごみの総量を減らすのはもちろん大事だが、持続可能な大規模の施設整備も両輪で進めていくべき。

回答 委員

- ・仰る通りだと思うが、財政的な事情も勘案する必要がある。現行の焼却炉の劣化の速さは、プラスチック類も構わず燃やすなど、明石市におけるこの間のごみ分別の不徹底も要因としてあると思うが、逗子市のように分別を徹底すればごみを燃やす量が減り、リサイクルを徹底すれば環境にも良い。今後は燃やせるものだけをしっかりと燃やしていけば、焼却炉を持続できるし、そのためにも、市民・事業者の理解・協力の下で進めていくことが大事。
- ・この度の新ごみ処理施設整備は明石市単独で進めていくが、将来的には、他市町との協働により広域でごみ処理を進めていくことも考えていく必要がある。
- ・(この後の別の質疑応答のやり取りの中で) 最初から設備投資をして大規模な施設を整備するのではなくて、逗子市のような取り組みが本市ではまだ出来ていないところがあるので、まずは市民と一緒に進めていくべき。

意見 明石市飲食業組合

- ・市民の疑問を払拭するためにも情報発信をしっかりと行ってほしい。

回答 委員

・ごみの減量について市民の理解を得るためには市民との話し合いの場をたくさん持つことが重要。市と議会とが一緒になって進めていく。

提言 明石市飲食業組合

・新規開業の店舗に保健所が営業許可を出す際、ごみ回収業者との契約の締結が証明できなければ、営業許可を出さないくらいの厳しい対応をしてもいいのではないかと。

回答 委員

・保健所となると文教厚生常任委員会の所管となるが、所管を越えて何ができるか探っていきたい。

質問 委員

・小規模店の店主に事業系ごみの分別について周知していくにあたり、店主に直接届く周知方法について知恵を頂きたい。

回答 明石市飲食業組合

・食品衛生法上、6年に一度飲食店等の営業許可の更新のための講習がある。その時に情報をお渡しすることは可能だし、店主に確実に届くが、6年に1回のスパンになってしまう。

質問 委員

・事業者がごみの回収を業者に依頼するにあたっては負担感があると思うが、こういった形で回収費用が算出されるのか聞きたい。

回答 明石市飲食業組合

・ごみの量が多くなればどうしても金額がかさんでしまう。ただ、ごみの処理に対して事業者が費用を負担するのは当然で、事業者がその意識を持つべき。

質問 委員

・飲食店で働いているスタッフの意識を変えていかないといけない。肌感覚として、飲食業界の中で、どれくらいの割合の方が意識を持っているか。

回答 明石市飲食業組合

・意識している人の方が少ないと思う。捨ててしまえばわからないという考えの人や、ルール・マナーが守られずに出されたごみも最終的には収集されるので。

提言 明石市飲食業組合

・私たちのライフスタイルの変化に応じてごみも変化する。20~30年前は紙類のごみが多かったと思うが、デジタル化で紙の量が減っている。今は外食・中食の文化となり、総菜の購入、フードデリバリーでプラスチック資源ごみが増加している。このようにごみの量と質が変化するので、どのごみを分別回収するのが一番効果的なのかを考えていただければと思う。

質疑応答 明石市ごみ減量推進員と委員

提言 明石市ごみ減量推進員

・焼却灰を埋め立て処分するのではなく、化学分析し、違う形で利用できれば。

回答 委員

・今調べた中では事例もあり、すぐには難しいかもしれないが将来的に検討していければ。

質問 委員

	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの有料化についてはどう考えるか。
回答	<p>明石市ごみ減量推進員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料化となると反対が起きると思う。個人的には有料化ではなく指定ごみ袋制度の導入のみが良い。
質問	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定ごみ袋制度の導入を通じて、どのようにごみの減量に繋げていくのか、工夫が必要だと思うが、いかがお考えか。
回答	<p>明石市ごみ減量推進員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会を通じて周知は出来ると思うが、自治会加入者以外の方への情報発信を徹底して頂けたらと思う。 ・まずは第一歩として神戸市と同様の指定ごみ袋制度の導入を来年からでも早期に取り組んでいただきたい。ごみ袋の金額的には変わらない。
質問	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の取り組みで、ごみの減量において何か革新的な良い取り組みをしている地域の事例があれば教えてほしい。
回答	<p>明石市ごみ減量推進員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の集団回収の他、私は生ごみを自身の畑へもって行き、肥料にしている。
質問	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会員以外の方から自治会に対し、ごみの収集日等について情報提供をしてほしいという声はあるか。自治会員以外にも情報が入る仕組みが必要と思うが、どうか。
回答	<p>明石市ごみ減量推進員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自治会に声を掛けると自治会への加入を迫られるのだろう」という思いがあるだろうから、自治会に声は掛かってこない。自治会員以外でも、ごみステーションにごみを置けば収集してくれるので、相談を受けることはまず無い。 ・市民全員が自治会員となれば一番良いが、そこまではなかなか難しい。自治会員以外の方への広報は市にお願いするしかない。現状自治会としては、新しく転居して来られた方にしか PR が出来ていない。
質問	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会員以外の方のゴミ出しマナーの悪さについて詳しく聞かせてほしい。
回答	<p>明石市ごみ減量推進員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路沿いにあるごみステーションで、例えば車で駅へ向かう途中で車で乗り付けてごみを捨てていく。 ・ごみステーションから 10 メートルほど離れた場所に誰かが一つごみを置いたら、その周りにごみが溜まっていく。そのようなごみでも市は収集する。 ・介護職員が高齢者宅のごみを代わりに出してあげるのは良いが、指定日の前日に出すといった事例がある。
質疑応答	<p>生活協同組合コープこうべ第 6 地区と委員</p>
意見	<p>生活協同組合コープこうべ第 6 地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私自身は明石市居住ではないが、居住地で指定ごみ袋制度が導入され、紙類の分別をするようになり、自分自身が出すごみの量がかなり減った実感がある。 ・ペットボトルの分別回収は一般に周知されており、店頭にも持って来て頂い

	<p>ているがプラスチック資源ごみの分別回収が周知されていない。これがきちんと分別回収できるようになればごみの量が随分と減らせると思う。</p> <p>質問 委員</p> <ul style="list-style-type: none">・食品トレーについて、現状明石市では燃やせるごみの中に一緒に入れているが、神戸市ではきちんと分別していると聞く。分別できればその分ごみが減ると思うが、そもそも食品トレーは、やはり運搬等の関係で必要なものなのか。 <p>回答 生活協同組合コープこうべ第6地区</p> <ul style="list-style-type: none">・ノントレーの商品も作ってはいるが、見栄えが悪いのか、あまり売れないのが実情。
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

明石市議会議長 辰巳浩司 様

令和7年1月22日

上記のとおり報告します。

生活文化常任委員長 山中裕司